

■ 地下光ケーブル多条布設技術の適用拡大

2011年（平成23年）

■ 既設光ケーブルへの多条布設技術の適用拡大

主線管路で用いられている1管路にケーブルを複数条收容可能な多条布設技術に加え、適用不可であった区間への技術検討を行った結果、更なる基盤設備の有効活用が可能となりました（図1）。

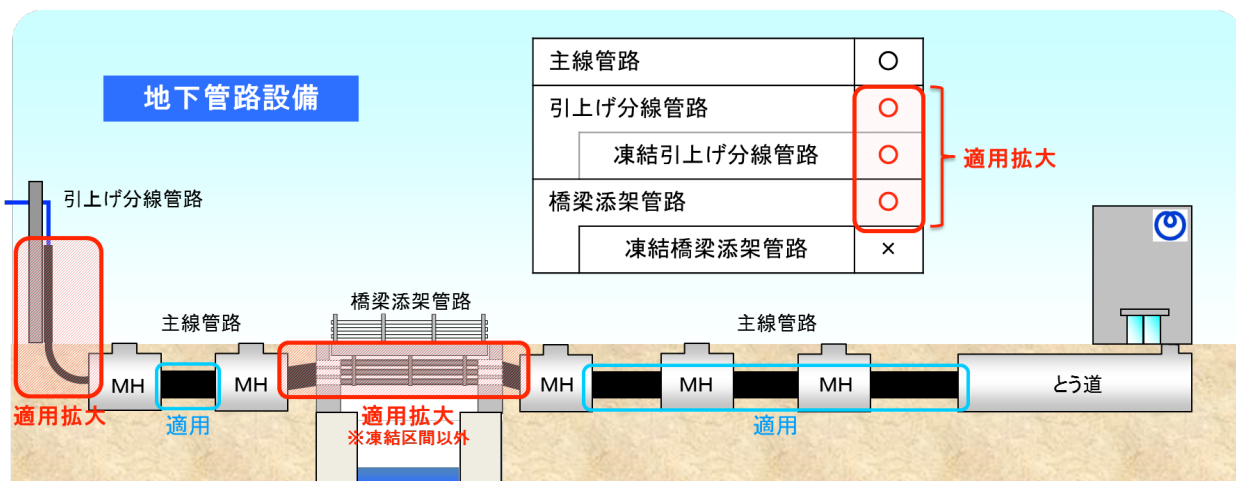


図1 既設光ケーブルへの多条布設技術の適用状況

■ 引上げ分線区間への多条布設技術

更なる基盤設備の有効活用を図るため、引上げ分線区間への多条布設技術を確立しました（図2）。

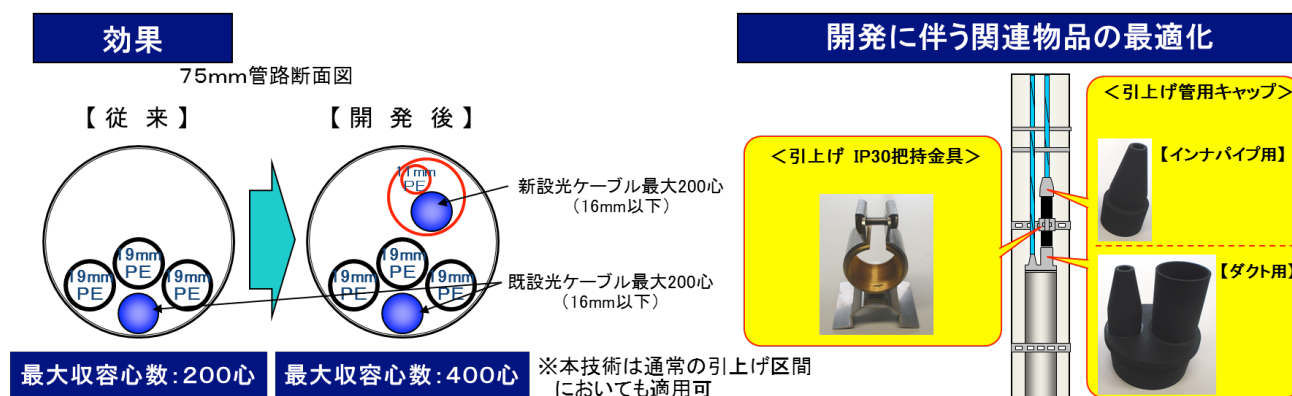


図2 引上げ分線区間への多条布設による効果

